

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 11 月 5 日 (2015.11.5)

【公開番号】特開 2014-93628 (P2014-93628A)

【公開日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2014-026

【出願番号】特願 2012-242406 (P2012-242406)

【国際特許分類】

H 0 4 W 52/38 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 52/30 (2009.01)

H 0 4 W 52/16 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 52/38

H 0 4 W 72/04 1 1 1

H 0 4 W 52/30

H 0 4 W 52/16

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 11 日 (2015.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の無線基地局及び第 2 の無線基地局と通信可能なユーザ端末であって、
各無線基地局にそれぞれ設定されたセル毎に上りリンクの物理チャネルを送信する送信
部と、

各無線基地局にそれぞれ送信する上りリンク送信の電力を制御する電力制御部と、を具
備し、

前記電力制御部は、前記第 1 の無線基地局に設定される第 1 のセルの所定サブフレーム
が、前記第 2 の無線基地局に設定される第 2 のセルのサブフレーム (i) 及びサブフレ
ーム (i + 1) と重複する場合、前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力を考
慮して前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とするユ
ーザ端末。

【請求項 2】

前記電力制御部は、時系列的に先行する前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の送信電
力を決定後、当該第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力に基づいて前記第 1 の
セルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする請求項 1 に記載のユ
ーザ端末。

【請求項 3】

第 1 の無線基地局及び第 2 の無線基地局と通信可能なユーザ端末の無線通信方法であっ
て、

各無線基地局にそれぞれ送信する上りリンク送信の電力を制御する工程と、

各無線基地局にそれぞれ設定されたセル毎に上りリンクの物理チャネルを送信する工程
と、を具備し、

前記第 1 の無線基地局に設定される第 1 のセルの所定サブフレームが、前記第 2 の無線

基地局に設定される第 2 のセルのサブフレーム (i) 及びサブフレーム (i + 1) と重複する場合、前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力を考慮して前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする無線通信方法。

【請求項 4】

前記ユーザ端末は、時系列的に先行する前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の送信電力を決定後、当該第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力に基づいて前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする請求項 3 に記載の無線通信方法。

【請求項 5】

第 1 の無線基地局及び第 2 の無線基地局とユーザ端末が通信可能な無線通信システムであって、

前記ユーザ端末は、各無線基地局にそれぞれ設定されたセル毎に上りリンクの物理チャネルを送信する送信部と、各無線基地局にそれぞれ送信する上りリンク送信の電力を制御する電力制御部と、を具備し、

前記電力制御部は、前記第 1 の無線基地局に設定される第 1 のセルの所定サブフレームが、前記第 2 の無線基地局に設定される第 2 のセルのサブフレーム (i) 及びサブフレーム (i + 1) と重複する場合、前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力を考慮して前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする無線通信システム。

【請求項 6】

前記電力制御部は、時系列的に先行する前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の送信電力を決定後、当該第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力に基づいて前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする請求項 5 に記載の無線通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

本発明に係るユーザ端末は、第 1 の無線基地局及び第 2 の無線基地局と通信可能なユーザ端末であって、各無線基地局にそれぞれ設定されたセル毎に上りリンクの物理チャネルを送信する送信部と、各無線基地局にそれぞれ送信する上りリンク送信の電力を制御する電力制御部と、を具備し、前記電力制御部は、前記第 1 の無線基地局に設定される第 1 のセルの所定サブフレームが、前記第 2 の無線基地局に設定される第 2 のセルのサブフレーム (i) 及びサブフレーム (i + 1) と重複する場合、前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力を考慮して前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明に係る無線通信システムは、第 1 の無線基地局及び第 2 の無線基地局とユーザ端末が通信可能な無線通信システムであって、前記ユーザ端末は、各無線基地局にそれぞれ設定されたセル毎に上りリンクの物理チャネルを送信する送信部と、各無線基地局にそれぞれ送信する上りリンク送信の電力を制御する電力制御部と、を具備し、前記電力制御部は、前記第 1 の無線基地局に設定される第 1 のセルの所定サブフレームが、前記第 2 の無線基地局に設定される第 2 のセルのサブフレーム (i) 及びサブフレーム (i + 1) と重

複する場合、前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力を考慮して前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 9 】

本発明に係る無線通信方法は、第 1 の無線基地局及び第 2 の無線基地局と通信可能なユーザ端末の無線通信方法であって、各無線基地局にそれぞれ送信する上りリンク送信の電力を制御する工程と、各無線基地局にそれぞれ設定されたセル毎に上りリンクの物理チャネルを送信する工程と、を具備し、前記第 1 の無線基地局に設定される第 1 のセルの所定サブフレームが、前記第 2 の無線基地局に設定される第 2 のセルのサブフレーム (i) 及びサブフレーム ($i + 1$) と重複する場合、前記第 2 のセルのサブフレーム (i) の U L 送信電力を考慮して前記第 1 のセルの所定サブフレームの U L 送信電力を決定することを特徴とする。